

初春のお慶びを申し上げます

新年、明けましておめでとうございます。

組合員及び地域住民の皆様とともに輝かしい新年を迎えられたことに謹んでご祝詞を申し上げます。

日頃より農協の各事業におきましては、格別なるご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますとコロナ明けから全国的に消費活動が活発化し、国内経済は緩やかな回復基調がみられたものの、賃金の上昇に追いつかない急激な物価高騰により消費は幾分、足踏み傾向となりました。また、国内では石破新政権が誕生し新たな政策を打ち出す中、アメリカではトランプ氏が大統領に再選されるなど、ロシアによるウクライナ侵攻が続く中、国内外問わず先行きが不透明な状況となっております。

また、農協・農業を取りまく情勢については、兼ねてからの労働力不足に加え、農地継承が思うよ

うにすすまず、粗放園や耕作放棄地が目立つようになりました。今後、行政や関係機関と協力しながら労働力不足対策と並行して取り組んでまいります。

主力作物であるりんごについては、暖冬降雪の影響で生育は早めに推移したものの、一昨年の高温・干ばつの影響から花芽が少なく、マメコバチの活動状況も悪いことから結実量は少ない状態となりました。一方で、開花の早まりから肥大は順調に推移し、総体的に大玉傾向となりました。一昨年多発したシンクイムシ類は、昨年からの防除暦に採用された『コンフューザー』によって減少傾向となったものの入庫数量は615,591箱（前年比110%）となりました。稲作については、初期生育は鈍化したものの、その後好天に恵まれたことにより、自主流通米5,706俵（前年比111%）が全量の実績になりました。

販売につきましては、一昨年の猛暑による花芽不足や受粉環境の悪化と干ばつの影響から、昨年同様少ない収穫量となる中で、令和5年産りんごの小売単価が高いことから荷動きが鈍く、早生種の「サンつがる」が安値基調でのスタートとなりました。中生種の「早生ふじ」「シナノスイート」につきま

しては、早生ふじ系が品薄傾向で推移したことから、消費地・産地市場ともに高騰しました。一方、輸出向けにつきましては、早生種の「きおう」の香港向けが品質面で、低調なスタートとなったものの「トキ」については、台湾向けの引き合いが順調で「シナノスイート」「名月」も高値での取引となりました。主力である「サンふじ」につきましては、特に品薄傾向で、上位等級品や蜜入りが少ないなかでギフト需要が例年通りに多く、春節向け「サンふじ」「有袋ふじ」「金星」が大玉傾向であることが



ら、順調な取引となりました。今後の販売につきましても、国内はもとより海外での企画を促進することにより、高値販売に取り組んでまいります。

近年、農業生産基盤が急速に脆弱化していくことが強く懸念される中、経営・振興3カ年計画の最終年度として、これまで以上に農業所得の向上、生産基盤の強化に取り組むとともに、内部監査・リスク体制を機能強化し、JAの健全経営の維持に努めて参ります。地域に根ざした組織として、組合員ならびに利用者の皆様から愛されるJA相馬村をめざし、役職員が一丸となって取組んでまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いします

本年も大きな災害の無いことを祈りつつ、組合員及び地域住民の皆様が健やかに笑顔で暮せることを願い新年のあいさついたします。



代表理事組合長 大場 勉		専務理事 三上 隆基		理事金融共済部長 山内 利彦		りんご委員長 花田 勇人		総務委員長 花田 敏幸		総務・りんご委員 田澤 俊明		総務・りんご委員 田澤 真由美		総務・りんご委員 溝江 翼		代表監事 藤田 伸		監事 山内 知人		員外監事 岩谷 健		他職員一同	
-----------------	--	---------------	--	-------------------	--	-----------------	--	----------------	--	-------------------	--	--------------------	--	------------------	--	--------------	--	-------------	--	--------------	--	-------	--